



院長
伊藤 真理子
プロフィール

真理子先生の
女性のミカタ

●(いとう・まりこ) 1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

カンジダ

季節の変わり目と新年度入りが重なり、この時期はストレスなどで自律神経が乱れがちに。すると免疫力も弱まり、カンジダが悪さをするようになります。

痒くてたまらない

カンジダはカビ(真菌)の仲間、女性のデリケートな部分に棲みついて「痒くてたまらない」といった症状を引き起こします。膣の中でカンジダが増殖すると白くポロポロとしたおりものが出ます。こじれて長引くと、おりものが黄色や緑色にもなります。

カンジダは皮膚病ですので、一度感染すると全身どこに棲みついても不思議はありません。柔らかな皮膚や粘膜が特に危険で、乳首や乳輪のほかに、口回りに発症することもあります。

抗生物質も原因に

この時期以外にも、風邪やインフルエンザ、胃腸炎や膀胱炎などの病み上がりや、妊娠中も御用心。身体が弱った上にさらに免疫力が弱まったりすると長引きます。また免疫力が弱まったところに抗生物質を使うと感染しやすいというケースも多く報告されて

います。抗生物質を使用する際はあらかじめ塗り薬も合わせて使っておくようにしましょう。

掻くのはNG!

特にこじれやすいのが陰部。眠っている間に無意識に掻き壊してしまいがちだからです。気を付けないのは、とにかく掻いたりやウオッシュレットを直接強くあてたり、石鹸を直接塗ってゴシゴシ洗うのもNGです。



ストレスをなくして

最近ではドラッグストアで抗真菌剤入りの泡ソープや塗り薬、膣錠も売られています。何より大切なのは免疫力を弱めないよう、ストレスを避け、睡眠や食事に気を配ることが大切です。

<産婦人科>
真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

●受付時間
【平日】午前/8時30分~12時
午後/14時~17時
【木曜】午前/8時30分~11時
【土曜】午前/8時~11時
●休診日
日・祝祭日
木・土曜日は午後休診となります。

